

2020年8月6日
秋田キャッスルホテル

「Go to トラベル」キャンペーンに備え、感染症対策を強化
レストラン・バーでスマホ閲覧用メニューを導入
2020年8月1日スタート



▲客席に設置した二次元コードを読み取るとメニューの閲覧が可能です。感染リスクを抑えて、大切な方との食事をお楽しみいただける空間づくりに努めています。

秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市中通 1-3-5、代表取締役社長 長沢秀行）は、飲食店の利用による感染リスクを減らすことを目的に、2020年8月1日よりレストラン、バーのメニューをスマートフォンでも閲覧できる新たなサービスを始めました。

利用方法は、ご来店時にお客様がスマートフォンで二次元コードを読み取るだけ。料理の写真や説明、価格など紙のメニューと同様の内容が、お客様自身のスマートフォンでご覧いただけます。

新型コロナウイルスの影響を鑑み、館内各所では感染症予防の対策を講じておりますが、この度の「Go to トラベル」キャンペーンによる旅行者の増加に備え、より安心してホテルを利用していただくために導入したものです。これにより、不特定多数が触れる冊子型のメニューに抵抗があるお客様の需要に応えたいと考えています。

秋田キャッスルホテルは安全・安心な環境づくりを目指し、引き続き感染症予防の徹底に努めてまいります。ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【対象店舗】1F ダイニングレストラン ザ・キャッスル
8F バー・ロータス

■会社概要

1970年7月7日開業。客室数150室、大小11の宴会場、料飲店舗5施設を有するシティホテル。医療施設エリア「メディカルモール」、ホテルオフィス、テナントショップなどを併設し、地域の活動拠点としてあらゆるシーンでご利用いただけます。2001年よりメディカル事業部を新設。2020年には開業50年を迎えました。

■本件の取材・内容に係るお問い合わせ■

秋田キャッスルホテル 担当：企画・広報課 矢野、加藤、伊藤、石井
TEL：018-834-1141/FAX：018-834-2800/<https://www.castle-hotel.jp>

< 参考資料 >

■ 当社の感染症対策について

全館共通の取り組み



※頻繁に触れる箇所…ドアノブ、スイッチ・ボタン類、手すり、メニュー、カードキー、ペンなど共有でお使いいただく物品等

上記に加え各所にて追加で行う取り組み

▶ パブリックスペース

- ・エレベーター、パブリックトイレ、喫煙室等のご利用人数を制限

▶ 宿泊

- ・客室清掃時に消毒を実施（上記の頻繁に触れる箇所に加え、リモコン、デスク、電話等）
- ・フロントエリアに次亜塩素酸による空間除菌脱臭機の設置
- ・フロントカウンターに飛沫感染防止のパテーションを設置
- ・厚生労働省からの依頼により宿泊のお客様に検温等を実施

▶ 宴会、会議、婚礼

- ・新しい生活様式に配慮した会場レイアウトおよび宴会スタイルのご提案
- ・ロビーでの密集状態を避けるため、ご宴会の開始時間を調整
- ・お料理の提供方法はビュッフェスタイルを休止し、個食対応をご提案
- ・接触感染防止のため、クロークでの荷物等のお預かりを原則休止
- ・会場の定期的な換気を実施
- ・県外からの参加者が多数の場合、主催者に参加者リストの提供をお願いし、連絡手段を確保
- ・挙式、披露宴において、1日の最大実施組数を制限
- ・挙式会場（チャペル、神殿）の収容人数を減員

▶ レストラン、バー、デリカショップ

- ・お会計エリアに飛沫感染防止のパテーションまたはシートを設置
- ・開放できる窓のある店舗においては定期的な換気を実施
- ・メニューの電子化（二次元コードの読み取りによりスマートフォンでの閲覧が可能）

2020.8.6 現在